



「総合的な処遇改善の実施について」

申17号

に関する申し入れ 団体交渉を行う！③

10. 「カフェテリア・ポイントの対象範囲の見直し」及び「カフェテリア・プランにおけるレジャー施設補助の見直し」を行う目的を明らかにすること。また、組合員の声を反映した補助範囲の拡大を行うこと。

組合員の主張

【目的】 カフェテリア・ポイントの対象範囲の見直しを行うのはなぜか。また、カフェテリア・プランにおけるレジャー施設補助の見直しを行うのはなぜか。社員のどのような声に基づき見直したのか。

【ポイントの利用について】 社員のカフェテリア・ポイントの利用状況はどうか。また、使いきれない社員はどれくらいいるのか。

【組合員の声】 東京ディズニー・リゾートの補助額が変更になり、ポイントを利用出来なくなるので、補助額の追加で対応出来ないのか。ポイント数を増やすべきだ。

【主張】 組合員の声を反映した補助範囲の拡大を行うこと。



<会社の主張>

◆社員・家族のより充実した豊かな生活のために行った。福利厚生は、社員・家族の豊かな生活を後押しするという面もあるために行った。改善の対象範囲の義父母については分かりにくいという声とライフスタイルが多様化しているため拡大した◆社員の利用状況は貸貸補助の60ポイントしか消費しない社員もいれば計画的に230ポイント全て利用する社員もいる。ある一定数はポイントを残している社員もいることは承知している◆東京ディズニー・リゾートの補助額は分かりやすくすることと先方の都合によるもの。現在はBUYJRや自己啓発に少額で利用できるものがあるので活用してもらいたい◆ポイントを増額して欲しいという声があることは承知しているが、限られた予算の中で最大限行っているので変更の予定はない◆社員や家族のために何が出来るか検討していく **確認!!**

11. 組合員・社員に対する説明を丁寧に実施し、制度等が活用できる環境を整えること。

組合員の主張

処遇改善されることは良いことだが、活用されないと意味がない。ここ数年多くの変更点があり理解できていない現実がある。直接取り扱う社員や質問される事務関係社員への説明を丁寧に行うこと。

組合員・社員の申請主義になっていて、申請方法を理解していなく利用できないことが多々ある。そこも改善するべきだ。



<会社の主張>

周知方法は色々ある。マニュアル・通達・連絡文書・福利厚生ポータルへの掲載などが考えられる。その時の状況に応じて使っている。様々なツールを利用して周知していきたい。管理者や事務担当がある程度応えられるのは望ましいが、それでも解決しなければ申込窓口も活用して欲しい。

組合員の声を反映し、安心して生活ができる環境をつくり出そう!!